

2021年度第2四半期 決算報告書

プレスリリース
2021年7月30日、パリ発



堅実なビジネスモデルで力強い業績を実現

営業収益の伸長が継続
2020年度第2四半期比 +0.9%
(2019年度第2四半期比 +4.9%)

コストが低減、ジョーズ効果はポジティブ
2020年度第2四半期比 -2.3%
(2019年度第2四半期比 -3.5%)

営業総利益が前年同期・前々年同期比で大幅増
2020年度第2四半期比 +6.2%
(2019年度第2四半期比 +21.5%)

リスク費用は低水準：38 bp¹

- 45-55 bpレンジ 以下¹
- 正常債権（ステージ1と2）では全体的に引当金取崩なし

営業利益が前年同期・前々年同期比で大幅増
2021年度第2四半期：37億9,100万ユーロ（2020年度第2四半期比 +31.2%）
(2019年度第2四半期比 +19.7%)

極めて高水準の成果を達成
純利益²が前年同期・前々年同期比で力強く増加
2021年度第2四半期：29億1,100万ユーロ（2020年度第2四半期比+26.6%）
(2019年度第2四半期比+17.9%)

バランスシートは盤石 – TRIM³ が終了
普通株式等Tier 1比率⁴：12.9%

2021年9月24日の株主総会で追加的な普通配当（現金配当1.55ユーロ）を提案し、
2021年9月30日に支払実施の方針⁵

1. リスク費用+顧客向け融資期首残高；2. 親会社株主帰属純利益；3. 内部モデル・ターゲット審査（TRIM）；4. 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号の経過規定を含む；5. 2020年度の純利益に対する1株当たりの追加的な配当（配当性向は50%に上昇）。BNPパリバ・グループの普通配当方針および欧州中央銀行（ECB）の2021年7月23日の発表に基づく。2021年9月24日に開催される株主総会の承認を要し、2021年9月28日に配当落ち、2021年9月30日に支払いの見通し。



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



BNPパリバの取締役会が2021年7月29日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2021年度第2四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバは、その多角的かつ統合的なビジネスモデルや盤石な財務構造を力とし、お客様や経済に貢献する活動を拡大し続けています。BNPパリバの堅実な決算は経済活動の回復の反映であると共に、我々の成長余地も反映しています。

当グループは、環境面・社会面のコミットメントを強化し、デジタル・事業変革を継続しつつ、経営資源と専門知識を全て結集し続けており、個人・法人・機関投資家のお客様の適切なソリューション導入をご支援し、その変革を後押しし、共に着実に持続可能な景気回復の実現に貢献しています。

BNPパリバの世界中のチーム全てに謝意を表します。お客様に常に寄り添ってきたその一貫した姿勢により、我々への信頼は欧州のみならず世界全体で大きく高まっています。」

*
* *

堅実なビジネスモデルで力強い業績を実現

第2四半期の経済活動は従来の軌道へ着実に戻りました。地域・セクター・事業分野によってモメンタムの違いは見られたものの、公衆衛生状況の改善が寄与しました。

この環境を追い風に、BNPパリバは上半期に再び多角的なビジネスモデルの強みを示し、景気回復動向を超える成長力を発揮しました。当グループの第2四半期/中間決算は高水準で、2019年度をはるかに上回っています。

この状況下、当グループは成長を続けていく好位置に立っています。

当グループ全体の当四半期の営業収益は117億7,600万ユーロとなり、2020年度第2四半期比0.9%増、2019年度第2四半期比4.9%増でした。国内市場部門が極めて好調だったことに加え、ホールセールバンキング（CIB）部門が前年同期の好業績に次ぐ高水準の営業収益を維持し、増収に寄与しました。

事業部門の当四半期の営業収益は前年同期比1.2%減でした。国内市場部門¹の営業収益は力強く伸び（2020年度第2四半期比+9.5%、2019年度第2四半期比+3.9%）、中でもリテールバンキング業務（特にフランス）の急回復や専門的金融業務（特にアルバル）の着実な伸びが貢献しました。国際金融サービス部門の営業収益は、アセット・マネジメント事業での急増に加え、バンクウエストやパーソナル・ファイナンスの寄与もあったものの、保険事業の前年同期比較は不利に働き、また、欧州・地中海沿岸諸国事業のリテールバンキングがやや不調で、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比2.0%減、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同1.5%増でした。CIB部門は事業の多角化やプラットフォームの強さが奏功し、前年同期の高業績に次ぐ好調さを達成しました。CIB部門の営業収益は2020年度第2四半期比では9.9%減ですが、2019年度第2四半期比では19.8%の大幅増収です。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）



営業費用はグループ全体で当四半期は71億7,200万ユーロで、2020年度第2四半期比2.3%減、2019年度第2四半期比3.5%減でした。ジョーズ効果は+3.1ポイントと非常に良好でした。当四半期の営業費用の中には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²（2,400万ユーロ）、および、IT強化費用（4,700万ユーロ）が合計7,100万ユーロ含まれています（前年同期の一時項目合計額は1億6,100万ユーロ）。

事業部門の当四半期の営業費用は前年同期比0.8%減でした。国内市場部門³は2.3%増で、専門的金融業務の伸びやリテールバンキング業務の回復に伴って費用が嵩みましたが、コスト節減策で抑制しています。国際金融サービス部門の営業費用は事業活動の回復により2.6%増⁴、CIB部門の営業費用は前年同期が高水準だったことから8.0%減でした。

これらを受けて、営業総利益はグループ全体で当四半期に46億400万ユーロとなり、2020年度第2四半期比で6.2%増、2019年度第2四半期比では21.5%の大幅増益でした。

リスク費用は8億1,300万ユーロと前年同期比6億3,400万ユーロ減少し、顧客向け融資残高の38bp相当と低水準でした（45～55bpのレンジ以下）。不良債権（ステージ3）の引当は低位で、全体的には正常債権（ステージ1と2）の引当金取崩はありませんでした。

営業利益は、グループ全体で当四半期に37億9,100万ユーロとなり、2020年度第2四半期比で31.2%、2019年度第2四半期比で19.7%の大幅増益でした。

営業外項目は、当四半期に4億300万ユーロの利益となり、前年同期の2億3,600万ユーロの利益を上回りました。当四半期の営業外項目にはAllfunds株売却⁵による譲渡益3億ユーロが含まれています。なお、前年同期の営業外項目には建物売却による譲渡益（8,300万ユーロ）が反映されていました。

税引前利益は、当四半期に41億9,400万ユーロに上り、2020年度第2四半期（31億2,600万ユーロ）に比べて34.2%の急増、2019年度第2四半期比で24.2%の大幅増でした。

当四半期の平均法人税率は29.1%でした。

以上から、株主帰属純利益は当四半期に29億1,100万ユーロに達し、2020年度第2四半期比26.6%増、2019年度第2四半期比17.9%増と極めて堅調でした。なお、一時項目による影響⁶を除くと27億4,800万ユーロで、2020年度第2四半期比16.5%増、2019年度第2四半期比4.9%増でした。

当グループの普通株式等Tier 1比率は2021年6月末現在12.9%⁷で、2021年3月末比10bp上昇しています。当グループの即時利用可能な余剰資金は4,880億ユーロに上っており、これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率⁸は4.0%でした。

1株当たり有形純資産額⁹は2021年6月末現在76.3ユーロに達し、2008年12月末からの年平均成長率は7.2%に相当し、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を備えていることを裏付けています。

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

² 特にバンクウェストとCIB部門に関連

³ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.8%

⁵ Allfunds持分6.7%の売却（残部持分は15.77%）

⁶ 一時項目による影響（税引後）：2021年度第2四半期は+1億6,200万ユーロ、2020年度第2四半期は-6,100万ユーロ、2019年度第2四半期は-1億5,100万ユーロ

⁷ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

⁸ ECBの2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定。

⁹ 再評価後



取締役会は株主総会で1株当たり1.55ユーロの普通配当を現金で支払うことを株主に提案する予定です¹。この配当は2021年5月26日に現金で支払った1株当たり1.11ユーロの普通配当に上乗せするもので、これにより2021年度に現金で支払う普通配当の合計は1株当たり2.66ユーロとなり、当グループの2020年度の配当性向は50%となります。

当グループは株主還元方針を2025年度事業計画の一環として重視し、2021年度の年度締め後に見直す予定です。新たな株主還元方針は2022年2月の本決算発表時に公表予定です。

当グループは内部統制体制の強化を継続しています。

当グループは社会に深く関わる意欲的な方針の推進を続けています。これに伴い、気候変動との長期にわたる闘いに最大限の努力を投じており、例えばネットゼロ・バンキング・アライアンス (NZBA) の最初の署名機関の1つとして名を連ね、NZBAを通じ、投融資先を含めたカーボンニュートラル (温室効果ガス排出実質ゼロ) の2050年までの達成にコミットしています。また、生物多様性保護の支援にも力を入れて取り組んでいます。EpE (環境保護のための企業連合) が主導するイニシアチブ「アクト・フォー・ネイチャー (act4nature)」に参加してから3年、BNPパリバは生物多様性保護へのコミットメントを強めており、法人顧客を生物多様性の尺度で評価する体制を2025年までに整える方針です。

2021年度上半期において、グループ全体の営業収益は236億500万ユーロとなり、2020年度上半期比4.6%の増収、2019年度上半期比5.5%の増収でした。

事業部門の営業収益は前年同期比2.7%増²でした。国内市場部門³はリテールバンキング業務 (特にフランス) の回復や専門的金融業務 (特にアルバル) の堅調な業績に支えられ、5.6%の増収となりました。国際金融サービス部門では、資金の呼び込みを基盤とする事業の力強い伸びやバンクウェストの好調な伸びが他の事業の不振を補い、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと3.0%増⁴でした。CIB部門では、2020年度第2四半期の目覚ましい業績に次ぐ持続的な伸びとなり、3事業が全て増収を記録し、2020年度上半期比4.4%の増収、2019年度上半期比20.9%の増収を果たしました。

営業費用はグループ全体で157億6,900万ユーロ、前年同期比1.8%増でした。当上半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用⁵と事業適応費用⁶ (8,200万ユーロ)、および、IT強化費用 (6,600万ユーロ) が合計1億4,800万ユーロ含まれています (前年同期は2億4,000万ユーロ)。ジョーズ効果は高水準でした (+2.8ポイント)。

営業費用の中には、2021年度に納付する税金・拠出金 (主に単一破綻処理基金への拠出金) のほぼ全額、14億6,000万ユーロが含まれています (前年同期は12億8,400万ユーロ)。

営業部門の営業費用は前年同期比1.1%増でした。国内市場部門では、専門的金融業務の伸びやリテールバンキング業務の回復を支える費用が嵩み、1.5%増でした。国際金融サービス部門は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと2.1%増⁷でした。CIB部門では、事業活動の伸びに加え、国際財務報告基準解釈指針委員会 (IFRIC) 第21号 (以下「IFRIC21」) 「賦課金」の影響もあり、4.3%増でした。

¹ 2021年9月24日に開催される株主総会の承認を要し、2021年9月28日に配当落ち、2021年9月30日に支払いの見通し。

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%

³ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む (PEL/CELの影響を除く)

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-1.3%

⁵ 特に特定の事業 (とりわけCIB部門) の中止・再編に関連

⁶ 特にウェルス・マネジメント部門とCIB部門に関連

⁷ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-2.2%



これらを受けて、営業総利益はグループ全体で当上半期に78億3,600万ユーロとなり、2020年度上半期（70億6,800万ユーロ）比で10.9%増益、2019年度上半期比で20.8%増益でした。事業部門の営業総利益は2020年度上半期比で6.0%増でした。

リスク費用は17億900万ユーロでした。健康危機に伴う正常債権（ステージ1と2）の引当の影響を受けた前年同期に比べて11億6,400万ユーロ減少し、顧客向け融資残高の40bp相当へ正常化し、45～55bpレンジを下回りました。

営業利益は、グループ全体で61億2,700万ユーロとなり、前年同期（41億9,500万ユーロ）と比べ、46.0%の大幅増益を果たしました。事業部門の営業利益は同36.4%増でした。

営業外項目は、当上半期に8億9,000万ユーロの利益となり、前年同期の7億2,600万ユーロの利益を上回りました。当上半期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益（+3億200万ユーロ）、BNPパリバ・アセットマネジメントの持分売却による譲渡益（+9,600万ユーロ）、Allfunds株売却¹による譲渡益（+3億ユーロ）が含まれています。なお、前年同期の営業外項目には、一時項目として、複数の建物売却による譲渡益（+4億6,400万ユーロ）が含まれていました。

税引前利益は、当上半期に70億1,700万ユーロとなり、2020年度上半期（49億2,100万ユーロ）と比べて42.6%の大幅増益、2019年度上半期比で15.8%の増益でした。

法人税率は平均で31.8%でした。これはIFRIC 21「賦課金」により生じる税金・拠出金が第1四半期に通年分の全額が計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

以上から、株主帰属純利益は当上半期に46億7,900万ユーロとなり、2020年度上半期比30.6%の増益、2019年度上半期比6.7%の増益でした。

有形自己資本利益率（ROTE）は当上半期に年率10.6%となり、BNPパリバ・グループが多角的かつ統合的なビジネスモデルで生み出した堅実な業績を反映し、今後の事業活動の更なる回復と成長余地を裏付けています。

¹ Allfunds持分6.7%の売却（残部持分は15.77%）



リテールバンキング&サービス事業

国内市場部門

国内市場部門の当四半期の業績は力強い事業活動の継続により極めて良好でした。融資残高は前年同期比**4.0%**増え、業務全てで増加を記録し、特に法人・個人向け貸出が好調でした。預金残高は健康危機が顧客行動に及ぼした影響により前年同期比**7.5%**増加しました。手数料収入は経済情勢が明るさを増す中で持続的に増加しています。オフバランス貯蓄商品では良好な市場動向が寄与し、**2020年6月末比15.5%**の大幅増でした。プライベート・バンキングへの資金純流入は**30億ユーロ**近くに達し、キャッシュマネジメントとトレードファイナンスの回復は顕著です。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリの接続回数は1日当たり**500万回**に迫り¹、前年同期比**25.1%**増でした。

営業収益²は、当四半期に**40億7,600万ユーロ**となり、前年同期比**9.5%**の増収でした。リテールバンキング業務³が好調で（**+7.9%**）、特にフランスの伸びが高水準でした。手数料収入の大幅増に加え、融資の伸びもあり、低金利環境のマイナス影響を一部相殺しました。専門的金融業務の伸びは続き、アルバル、Nickel、リーシング・ソリューションズは大幅増でした。

営業費用²は、当四半期は**25億200万ユーロ**、前年同期比**2.3%**増でした。リテールバンキング業務³では横ばいでしたが、専門的金融業務で事業活動の伸びに伴って増加しました（**11.9%**増）。ジョーズ効果は高水準でした（**+7.2ポイント**）。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**15億7,400万ユーロ**となり、前年同期比**23.4%**増の大幅増益でした。

リスク費用²は**2億8,400万ユーロ**と低位でした（前年同期は**3億3,100万ユーロ**）。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁴は当四半期に**12億2,800万ユーロ**となり、前年同期比**38.9%**増の大幅増益でした。

2021年度上半期において、国内市場部門の営業収益²は**80億3,200万ユーロ**、前年同期比**5.2%**の増収でした。リテールバンキング業務³の営業収益の増加（主に手数料収入の増加継続、特に金融手数料）に加え、融資の伸びもあり、低金利環境のマイナス影響を一部相殺しました。また、専門的金融業務の力強い増加（アルバルの高い伸びを含む）も押し上げ要因となりました。営業費用²は**54億9,900万ユーロ**、前年同期比**1.5%**増でした。リテールバンキング業務の営業費用は横ばいでしたが、専門的金融業務は事業の伸びに伴ってコスト増が生まれました。これらを受けて、営業総利益²は**25億3,300万ユーロ**となり、前年同期比**14.2%**の増益でした。リスク費用²は**5億9,900万ユーロ**と前年同期と比べ全体で**4,600万ユーロ**減少しています。以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁵は当上半期に**18億1,800万ユーロ**となり、前年同期比**24.7%**増の大幅増益でした。

¹ 第2四半期の平均値。範囲：国内市場部門のリテールバンキング支店またはデジタルバンクの個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客（ドイツ、オーストリアを含む）、およびNickel。

² フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む

³ フランス国内リテールバンキング、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング

⁴ PEL/CELの影響を除く：2021年度第2四半期は+1,900万ユーロ、2020年度第2四半期は+1,500万ユーロ

⁵ PEL/CELの影響を除く：2021年度上半期は+2,000万ユーロ、2020年度上半期は+200万ユーロ



フランス国内リテールバンキング (FRB)

FRBの業績は積極的な事業活動が奏功し大きく改善しました。融資残高は法人・個人向け貸出の増加に牽引され前年同期比**6.2%**増でした。個人向け貸出は力強い拡大が続き、住宅ローン等の組成は引き続き堅調で、利鞘は高水準です。預金残高は、健康危機が顧客行動に及ぼした影響により前年同期比**6.0%**増加しました。手数料収入は経済活動の回復や金融貯蓄商品の拡大に支えられ、高い伸びを達成しました。オフバランス貯蓄商品は、生命保険に対する高水準の資金流入が寄与し、**2021年6月末時点で50億ユーロ以上に急増しています(2020年6月末比+72.6%)**。プライベート・バンキングへの資金純流入は**9億ユーロ増**でした。

営業収益¹は当四半期は**15億8,700万ユーロ**に上り、前年同期比**12.7%**増収でした。純利息収入¹は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与が正常化し、貸出の増加もあり、低金利環境のマイナス影響を一部相殺し、**8.6%**増と力強く回復しました。手数料収入¹は金融手数料の急増や銀行手数料の順調な回復に後押しされ、前年同期比**17.8%**の大幅増でした。

営業費用¹は、コスト最適化策が奏功し、当四半期は**10億7,500万ユーロ**と前年同期比**0.1%**増に留まりました。ジョーズ効果は**+12.7ポイント**と高水準でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に**5億1,300万ユーロ**に達し、前年同期比**53.4%**増の大幅増益を果たしました。

リスク費用¹は当四半期は**1億100万ユーロ**(前年同期比**1,100万ユーロ増**)、顧客向け融資残高の**19bp**相当と低位を維持しました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、FRBの税引前利益²は当四半期に**3億7,700万ユーロ**となり、前年同期比**78.2%**増の大幅増益でした。

2021年度上半期において、FRBの営業収益¹は30億6,700万ユーロとなり、前年同期比4.6%増でした。純利息収入¹は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与が徐々に正常化したことに加え、貸出の増加もあり、低金利環境のマイナス影響を十分に相殺し、前年同期比**2.5%**増でした。手数料収入¹は金融手数料の急増や銀行手数料の回復により前年同期比**7.1%**の増収でした。営業費用¹はコスト最適化策が奏功し、**22億4,400万ユーロ**と前年同期比**0.2%**の小幅増に留まりました。これらを受けて、営業総利益¹は**8億2,300万ユーロ**に上り、前年同期比**18.9%**の増益です。リスク費用¹は**2億2,600万ユーロ**(前年同期は**1億9,100万ユーロ**)、顧客向け融資残高の**21bp**相当と低位でした。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、FRBの税引前利益³は当上半期に**5億3,300万ユーロ**となり、前年同期比**22.9%**の増益でした。

¹ フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

² PEL/CELの影響を除く: 2021年度第2四半期は+1,900万ユーロ、2020年度第2四半期は+1,500万ユーロ

³ PEL/CELの影響を除く: 2021年度上半期は+2,000万ユーロ、2020年度上半期は+200万ユーロ

**BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

BNL bcの業績は好調でした。融資残高は主に個人向け貸出の増加により前年同期比1.1%増、不良債権を除くと同2.9%増でした。預金残高は前年同期比13.1%増で、顧客セグメント全てで伸びています。オフバランス貯蓄商品は2020年6月末比12.0%増でした。良好な市場動向がミューチュアルファンドの残高増につながり（2020年6月末比+19.0%）、生命保険の保有契約高も増加しました（2020年6月末比+7.5%）。プライベート・バンキングへの資金純流入も堅調で9億ユーロを超えています。

営業収益¹は当四半期に6億6,900万ユーロとなり、前年同期比3.1%の増収でした。純利息収入¹は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果では補えず、2.0%減でした。手数料収入¹は、金融手数料が取引高・オフバランス貯蓄商品の伸びにより増加したことが寄与し、前年同期比11.0%増加しています。

営業費用¹は4億3,500万ユーロ、前年同期比3.0%増でした。事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む）は奏功しましたが、主に経済活動の回復に伴ってコストが膨らみました。ジョーズ効果は正でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億3,500万ユーロとなり、前年同期比3.4%増でした。

リスク費用¹は1億500万ユーロに留まり（前年同期比1,700万ユーロ減）、顧客向け融資残高の54bp相当と低水準でした。不良債権（ステージ3）の引当水準は低減し続けています。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に1億2,000万ユーロとなり、前年同期比27.1%の大幅増でした。

2021年度上半期において、BNL bcの営業収益¹は13億4,500万ユーロ、前年同期比2.8%の増収でした。純利息収入¹は低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果では補えず0.6%減、手数料収入¹は金融手数料が取引高・オフバランス貯蓄商品の伸びに伴って増加したことが寄与し、8.1%の高い伸びでした。営業費用¹は8億9,400万ユーロ、前年同期比0.8%増で、2ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。これらを受けて、営業総利益¹は4億5,100万ユーロとなり、前年同期比7.3%の増益でした。リスク費用¹は2億1,500万ユーロで、不良債権（ステージ3）の引当金の減少により前年同期から2,800万ユーロ削減し、顧客向け融資残高の55bp相当と依然低水準でした。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当上半期に2億1,800万ユーロとなり、前年同期比37.6%の大幅増でした。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む



ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

BRBの業績は事業活動の増加に伴って大きく上向きました。融資残高は前年同期比0.6%増え、主に個人向け貸出の伸びが牽引しました。預金残高は6.2%増でした。法人預金は減少しましたが、個人預金が増加しています。手数料収入の増加傾向は顕著でした。オフバランス貯蓄商品の伸びは着実に(2020年6月末比+14.7%)、特にミューチュアルファンドへの資金純流入が好調でした。プライベート・バンキングでは当四半期に8億ユーロ近い資金純流入を記録しました。決済業務が増え、特にカード決済数が回復しています(前年同期比+17%)。

デジタルツールの利用は加速し、モバイルアプリへの月次接続回数は5,500万回以上¹に上りました(前年同期比+42.0%)。

営業収益²は当四半期は8億6,400万ユーロ、前年同期比3.5%増でした。純利息収入²は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与や融資の伸びによるプラス効果はあったものの低金利環境のマイナス影響を補い切れず、前年同期比1.8%減少しました。手数料収入²は、金融手数料の高い伸びや銀行手数料の回復により、前年同期比16.9%増の大幅増収でした。

営業費用²は、コスト削減策に加え、支店網の最適化策の継続も奏功し、当四半期は4億8,800万ユーロと前年同期比2.1%減でした。ジョーズ効果は正でした(+5.6ポイント)。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に3億7,600万ユーロとなり、前年同期比11.8%の大幅増でした。

リスク費用²は当四半期は4,500万ユーロと前年同期(8,000万ユーロ)から3,500万ユーロを削減し、顧客向け融資残高の15bp相当と低水準でした。不良債権(ステージ3)の引当金が減少しています。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、BRBの税引前利益は当四半期に3億1,700万ユーロとなり、前年同期比30.2%の堅実な増加を果たしました。

2021年度上半期において、BRBの営業収益²は17億2,200万ユーロと安定的でした(前年同期比+0.1%)。純利息収入²は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与や融資の伸びによるプラス効果はあったものの低金利環境のマイナス影響を補い切れず、4.6%減でした。手数料収入²は、経済活動の再開に伴い、金融手数料が大きく伸び、銀行手数料も増加し、12.0%の大幅増でした。営業費用²は、コスト削減策に加え、支店網の最適化策の継続も奏功し、13億2,300万ユーロと前年同期比0.5%減でした。リスク費用²は9,200万ユーロと前年同期から4,200万ユーロ削減し、顧客向け融資残高の16bp相当と低水準でした。不良債権(ステージ3)の引当金が減少しています。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、BRBの税引前利益は当上半期に2億8,200万ユーロとなり、前年同期比18.0%増の堅調な伸びを達成しました。

¹ 第2四半期の平均値。範囲：個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客(BNPパリバフォルティスとHello Bank!)

² ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務はいずれも高水準の事業開発を達成しました。アルバルのファイナンスフリートの契約台数は大きく伸び（前年同期比+6.4%¹）、中古車価格は全ての国で上昇を続けました。リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年同期比4.7%増え²、期初来の組成水準は2019年度を上回っています。個人投資家部門では、金融市場の堅調な展開を追い風に売買注文数が正常化し高水準となり、運用資産の大幅増を達成しました（2020年6月末比+40.4%）。Nickelはフランスで躍進を続け、口座開設数は210万を超えました³。ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンが大きく伸び、融資残高は前年同期比5.7%増加しています。

これら5つの業務部門合計の営業収益⁴は当四半期に9億5,600万ユーロに上り、前年同期比15.3%の大幅増でした。特にアルバル、リーシング・ソリューションズ、Nickelが力強く貢献しました。個人投資家部門の営業収益は高水準で横ばいでした。

営業費用⁴は、事業活動の拡大に伴って嵩み、5億500万ユーロでした（前年同期比11.9%増）。ジョーズ効果は正でした（+3.4ポイント）。

リスク費用⁴は当四半期は3,400万ユーロでした（前年同期は4,000万ユーロ）。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの業務部門の税引前利益は当四半期に4億1,400万ユーロに達し、前年同期比23.6%増の大幅増益でした。

2021年度上半期において、5つの業務部門の営業収益⁴は18億9,800万ユーロに上り、前年同期比13.3%の増収でした。アルバルの力強い伸びに加え、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickelも好調でしたが、ルクセンブルク国内リテールバンキングの手数料収入増は低金利環境のマイナス影響で相殺されました。営業費用⁴は事業の伸びに伴って嵩み前年同期比8.2%増でしたが、ジョーズ効果は正でした（+5.1ポイント）。リスク費用⁴は6,600万ユーロで、前年同期の7,800万ユーロを下回っています。以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの業務部門の税引前利益は当上半期に7億8,500万ユーロとなり、前年同期比25.2%増の大幅増益を果たしました。

*
* *

¹ 平均フリート台数（千台）

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 設定来

⁴ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む



国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、高水準の事業活動を維持し、好業績を達成しました。パーソナル・ファイナンスは回復基調にあり、資金供給チャネル全てでローン組成が復調し、リスク費用が改善しています。国際リテールバンキング業務¹では事業活動が堅調さを維持し、手数料収入は伸び、個人向けローン組成の回復が続きました。資金の呼び込みを基盤とする事業活動も好調で、資金純流入は121億ユーロに上り、運用資産残高は2020年6月末比で10.8%増加しています。保険部門の事業活動も堅調で、不動産管理部門は回復を続けています。

営業収益は当四半期は39億4,800万ユーロで、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は前年同期比1.5%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は当四半期の不利な為替の影響により同2.0%減でした。アセット・マネジメント部門の力強い増収に加え、バンクウエスト²とパーソナル・ファイナンスの伸びも貢献しましたが、欧州・地中海沿岸諸国部門のリテールバンキング業務の不調と保険部門の不利な前年同期比較によって相殺されました。

営業費用は事業活動の回復に伴って膨らみ、当四半期は24億7,800万ユーロでした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合には前年同期比2.6%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合には同6.8%増でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は14億7,000万ユーロ、前年同期比8.9%減でした。

リスク費用は当四半期は4億1,700万ユーロに留まり、前年同期に比べて3億4,900万ユーロの大幅削減となりました。前年同期は健康危機に伴う正常債権（ステージ1と2）引当の影響がありました。

以上から、国際金融サービス部門の当四半期の税引前利益は11億5,400万ユーロに上りました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は前年同期比20.2%の増益、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は21.0%の大幅な増益でした。

2021年度上半期において、国際金融サービス部門の営業収益は79億7,600万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比3.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-1.3%）。資金の呼び込みを基盤とする事業が金融市場の堅調な推移を背景に力強く伸び、また、バンクウエストの好調な伸びも営業収益に貢献しましたが、パーソナル・ファイナンスが健康危機関連で小幅減収だったことや欧州・地中海沿岸諸国部門の不振で相殺されました。営業費用は50億6,500万ユーロで、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比2.1%増ですが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると同2.2%減でした。ジョーズ効果は正でした（+0.9ポイント²）。これらを受けて、営業総利益は29億1,100万ユーロ、前年同期比0.4%増でした。リスク費用は7億7,400万ユーロに留まり、前年同期と比べ7億3,000万ユーロの大幅削減となりました。以上から、国際金融サービス部門の当上半期の税引前利益は23億9,600万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比50.2%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同52.6%増の大幅増益でした。当上半期には、一時項目として、第1四半期のBNPパリバ・アセットマネジメントの持分売却による譲渡益9,600万ユーロが含まれています。

¹ 欧州・地中海沿岸諸国部門とバンクウエスト

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く



パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの事業活動は大きく回復しました。ローン組成は公衆衛生規制の緩和に伴って当上半期に復調し（前年同期比+18.6%¹）、そのモメンタムは特に終盤に堅調でした（2021年6月は2019年6月比+6.9%¹）。融資残高水準は2020年度のローン組成減少の余波を受け続けましたが（2020年度第2四半期比-0.5%）、当四半期にトレンドの変化が見られました（前四半期比+0.5%）。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は当四半期は13億1,900万ユーロ、前年同期比1.3%増でした。取引高の増加とローン組成の回復が押し上げ要因となりました。

営業費用は、事業活動の回復支援や投資の継続に伴って当四半期は7億ユーロとなり、2020年度第2四半期比9.2%増でした。2020年度第2四半期は2019年度第2四半期比で8.6%減少していました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に6億1,900万ユーロとなり、前年同期比6.3%減でした。

リスク費用は当四半期は3億4,400万ユーロと前年同期を1億600万ユーロ下回りました。前年同期は健康危機に伴って正常債権（ステージ1と2）の引当が4,100万ユーロ計上されていました。当四半期のリスク費用は顧客向け融資残高の147bp相当で、効果的な延滞債権管理や債権回収の高実績維持を反映しており、2019年度の水準に匹敵する正常化水準です。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に2億6,400万ユーロとなり、前年同期比25.9%の大幅増でした。リスク費用の急減が寄与しました。

2021年度上半期において、パーソナル・ファイナンスの営業収益は26億5,100万ユーロとなり、前年同期比4.5%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.6%）。減収の主因は、2020年の健康危機の煽りで第1四半期に取引高が減少したことです（ローン組成は当上半期終盤に顕著に回復しています）。営業費用は事業活動の回復や投資の継続に伴って14億6,300万ユーロとなり、前年同期比2.4%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.3%）。これらを受けて、営業総利益は11億8,800万ユーロ、前年同期比11.9%減でした。リスク費用は6億6,500万ユーロに留まり、前年同期比3億6,800万ユーロの削減でした。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、リスク費用の急減が寄与し、当上半期に5億2,900万ユーロとなり、前年同期比63.6%増の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+70.1%）。

¹ 為替レート変動による影響を除く



欧州・地中海湾岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門の事業活動は厳しい環境にありながら底堅さを見せました。融資残高は、特にポーランドとトルコを筆頭に融資が伸び、前年同期比2.0%増¹でした。ローン組成は2020年8月の底打ち後、いずれの業務でも改善を続けています(+71%)。預金残高は前年同期比7.3%増¹、各国とも増加しました。デジタル顧客は390万人に上り、前年同期比14%増加しています。

欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益²は当四半期は4億6,400万ユーロ、前年同期比13.7%減¹でした。純利息収入の減少（特にトルコとポーランド）に伴う減収で、手数料収入の増加で一部相殺できました。手数料収入は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比21.5%増¹でした（前年同期は健康危機と一部諸国の手数料上限の影響で低水準でした）。

営業費用²は当四半期は3億9,400万ユーロ、前年同期比6.8%増¹でした。目標を絞った複数の取り組みに加え、貸金ドリフトが特にトルコで高水準でした。

リスク費用²は5,800万ユーロで（顧客向け融資残高の65bp相当）、前年同期を8,500万ユーロ下回りました。前年同期は健康危機に伴って正常債権（ステージ1と2）の引当を4,900万ユーロ計上していました。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に8,000万ユーロとなり、前年同期比34.2%減¹でした。

2021年度上半期において、欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益²は9億8,100万ユーロ、前年同期比11.3%減¹でした。手数料収入が回復しましたが、純利息収入の減少（特にトルコとポーランド）が響きました。営業費用²は8億2,600万ユーロ、前年同期比3.6%増¹でした。貸金ドリフトが特にトルコで高水準だったものの、費用増は抑制されました。リスク費用²は9,700万ユーロで、前年同期の2億2,900万ユーロから削減しています。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当上半期に1億2,100万ユーロとなり、前年同期比29.4%の減益¹でした。

バンクウェスト

バンクウェストの事業活動は堅調を維持し、個人・中小企業向けローン組成は急増しました（前年同期比+34.5%）。ただし融資残高は9.0%減¹でした。ローン組成の力強いモメンタムはあったものの、特に2020年の事業停止や経済対策の影響を被りました。預金残高は9.4%増¹、顧客預金³が大幅に伸びています(+10.9%¹)。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は2021年6月末時点で180億ドルという記録的なレベルに達し、2020年6月末比で17.2%増加¹しています。

営業収益⁴は当四半期は5億8,700万ユーロ、前年同期比2.1%増¹でした。増収は純利息収入の増加によるもので、利鞘の改善、預金残高の増加、ローン組成の急増、銀行手数料収入の増加が貢献しました。

営業費用⁴は事業活動の回復に伴って嵩み、当四半期は4億600万ユーロ、前年同期比2.4%増¹でした。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期は1億8,200万ユーロ、前年同期比1.3%減¹でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む

³ 財務活動に関わる預金を除く

⁴ 米国プライベート・バンキングの100%を含む



リスク費用¹は当四半期は800万ユーロに留まり、前年同期（1億6,700万ユーロ）に比べ大幅削減し、顧客向け融資残高の7bp相当でした。前年同期は正常債権（ステージ1と2）の引当金1億2,800万ユーロが計上されていました。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウェストの税引前利益は当四半期に1億7,100万ユーロとなり、前年同期（2,200万ユーロ）比で大幅増益を果たしました。

2021年度上半期において、バンクウェストの営業収益¹は12億1,200万ユーロ、前年同期比6.9%増²でした。手数料収入の大幅増、利鞘の改善、預金残高の増加、高水準のローン組成が増収につながりました。営業費用¹は8億1,300万ユーロと前年同期比1.3%減少²し、8.2ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。これらを受けて、営業総利益¹は3億9,900万ユーロ、前年同期比28.4%の増益²でした。リスク費用¹は200万ユーロに留まり、前年同期の2億2,900万ユーロから大幅に削減しています。（前年同期のリスク費用には正常債権（ステージ1と2）の引当の影響が反映されていました。）以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウェストの税引前利益は当上半期に3億9,000万ユーロとなり、前年同期（1億ユーロ）の4.4倍²に上りました。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険部門、ウェルス・マネジメント部門、アセット・マネジメント部門の運用資産残高³は2021年6月末現在で総額1兆2,030億ユーロに上り、2020年12月末比3.2%増でした。特にパフォーマンス面の影響が極めて良好で（+408億ユーロ）、堅調な市況や高い運用実績が押し上げ要因となりました。また、為替面の影響も有利に働きました（+79億ユーロ）。一方、連結範囲変更による影響はネガティブで（-286億ユーロ）、BNPパリバ・アセットマネジメントが保有していた持分を2021年度第1四半期に売却したことが主に響きました。資金純流入については3部門とも高水準の達成に貢献し（当上半期の総額は172億ユーロ）、ウェルス・マネジメント部門では欧州（特に国内市場）、アジア、米国で好調な資金純流入が見られ、アセット・マネジメント部門でも特に中長期ファンドを中心に資金純流入が力強く（短期ファンドから資金が純流出し一部相殺）、保険部門でも特にユニットリンク保険（とりわけフランス、イタリア、ルクセンブルク）に順調な資金純流入が見られました。

運用資産残高³の2021年6月末現在の内訳は、アセット・マネジメント部門が5,180億ユーロ（Real Estate Investment Managementの290億ユーロを含む）、ウェルス・マネジメント部門が4,100億ユーロ、保険部門は2,740億ユーロでした。

保険部門の事業活動は堅調でした。貯蓄型保険はフランス国内外で高実績を維持し、当上半期の資金流入は急増し（前年同期比+54.3%）、ユニットリンク保険が資金純流入の大半を占めました。保障保険の販売はフランスで増え、特に人身傷害補償保険や損害保険が好調でした（Cardif IARD）。国際的にも事業活動は上向き、特にアジアと南米で順調でした。

保険部門の営業収益は、当四半期は7億6,700万ユーロ、前年同期比7.4%減でした。前年同期に金融市場の回復に伴って会計上で増収効果が生じていたため、前年同期との比較は不利となり、当四半期の貯蓄型保険の目覚ましい伸びや保障保険の好調は相殺されました。営業費用は事業活動の回復や目標を絞った取り組みに伴って膨らみ、当四半期は3億6,700万ユーロ、前年同期比8.4%増でした。税引前利益は、4億2,400万ユーロ（関連会社に対する保険金請求の影響を含む）、前年同期比22.6%減でした。

¹ 米国プライベート・バンキングの100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 分配金を含む



ウェルス&アセット・マネジメント部門の事業活動は全体的に好調でした。ウェルス・マネジメント部門では、事業活動が拡大し、旺盛な資金純流入が特に国内市場（欧州内外の大口顧客）であり、運用資産残高や取引高の増加に伴って金融手数料収入が急増しました。アセット・マネジメント部門でも事業活動は堅調で、主に欧州の中長期ファンドで高水準の資金純流入が見られました（前年同期比+53億ユーロ）。不動産管理部門は回復を続けており、アドバイザリー業務（特にフランス）の復調は顕著です。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当四半期は8億3,000万ユーロ、前年同期比22.4%増で、全部門が増収でした。ウェルス・マネジメント部門では手数料収入や預貸利鞘が増収要因となり、アセット・マネジメント部門では力強い資金純流入や市場の上昇が増収に貢献し、不動産管理部門の営業収益は低水準だった前年同期に比べ回復しています。営業費用は当四半期は6億2,400万ユーロ、前年同期比3.8%増で、主に不動産管理部門とアセット・マネジメント部門の事業活動の拡大が費用増につながりました。ジョーズ効果は全部門とも正でした（全体で+18.6ポイント）。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国におけるプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当四半期に2億1,500万ユーロとなりました。前年同期の倍の水準となる増益で（+110.9%）、全部門の着実な伸びが押し上げ要因となりました。

2021年度上半期において、保険部門の営業収益は15億5,800万ユーロ、前年同期比10.8%増でした。増収要因として、貯蓄型保険の好調、保障保険の回復、前年同期の水準の低さ（金融市場の動きに伴う会計上の影響）が挙げられます。営業費用は事業活動の伸びや目標を絞った取り組みに伴って膨らみ、7億5,000万ユーロ、前年同期比2.5%増でした。以上から、保険部門の税引前利益は当上半期に8億6,600万ユーロとなり、前年同期比16.4%の増益でした。関連会社の利益寄与も押し上げ要因となりました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の当上半期の営業収益は16億1,400万ユーロ、前年同期比13.5%増でした。この結果は、アセット・マネジメント部門の好調（力強い資金純流入や市場の上昇が貢献）、不動産管理部門の前年同期比の回復（前年同期は低水準）、および、ウェルス・マネジメント部門で手数料収入の増加が低金利環境のマイナス影響を一部相殺したことを反映しています。営業費用は12億3,600万ユーロ、前年同期比0.6%の小幅減で、ジョーズ効果は全部門とも正でした（全体で+14.1ポイント）。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国におけるプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当上半期に4億9,000万ユーロとなり、前年同期比139.9%の増益でした。主な押し上げ要因は、アセット・マネジメント部門の営業総利益の大幅増や、BNPパリバ・アセットマネジメントが2021年度第1四半期に行った持分売却による譲渡益です。

*

* *



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は多様な業務を展開している強味を活かして高業績を達成し、事業活動の好調さを全部門で示しました。

ファイナンス業務は当四半期に株式発行業務で好成果を上げ、債券発行業務の取引高は前年同期比で正常化しつつあります。事業活動は金利・為替・クレジット市場とも好調で、エクイティデリバティブ業務とプライムサービス業務の顧客取引は堅調でした。また、証券管理部門では預かり資産が増加し、取引高は高水準を維持しました。

CIB部門はドイツ銀行から譲渡されるプライムブローカレッジ事業の顧客移管第1段階を終了し、また、2021年7月にはExane買収を完了し、当面の成長戦略を終えつつあります。

CIB部門はその業務展開の多様さを武器に高業績を達成しました。営業収益は当四半期に37億1,400万ユーロとなり、高水準だった2020年度第2四半期を9.9%下回りましたが、2019年度第2四半期比では19.8%の大幅増収でした。

コーポレートバンキング部門の営業収益は当四半期は12億3,800万ユーロで、高水準だった2020年度第2四半期比では1.6%の小幅減¹、2019年度第2四半期比では13.2%の大幅増収でした。当四半期の営業収益²に貢献したのは米州やEMEA³地域の健闘、キャピタルマーケット・プラットフォームによる好調継続、および、トレードファイナンス、キャッシュマネジメント、クロスボーダー取引の大幅増でした。取引高は高水準を維持し、クレジット・債券・株式市場でお客様のために調達した額は2019年度第2四半期比で大きく増加しました(+24%⁴。ただし、極めて高水準だった2020年度第2四半期比では37%減)。融資残高は1,540億ユーロ⁵で、2020年度上半期の借入急増後の正常化により2020年度第2四半期比では8.2%減ながら、2020年度第4四半期比では4.1%増と拡大を続けています。株式市場に関連した案件の取引高はEMEA⁶地域で急増し(2020年度上半期比+141%)、市場シェアも4.3%へ向上しています(同0.8ポイント上昇)。預金残高は1,850億ユーロ⁵に上り、健康危機の関係で7.1%増でしたが、2020年度第3四半期に記録したピークを3.6%下回りました。

グローバル・マーケット部門の営業収益は当四半期は19億400万ユーロで、極めて高水準だった2020年度第2四半期比でも17.4%減⁷と健闘し、2019年度第2四半期比では35.2%増と好調でした。顧客取引は堅調で、特にグローバルボンドの取引高は多く(2019~2020年度の四半期平均比で+15%)⁸、金利・為替・コモディティ取引は正常化し、デリバティブ取引は仕組み商品を中心に大きく伸びています。市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク (VaR。保有期間1日、信頼区間99%)は3,300万ユーロに低下し、6月初めに最低値に達しており、健康危機が招いたボラティリティ上昇局面は観測期間から徐々に外れています。

FICC⁹業務は全事業とも好調で、営業収益は当四半期に11億4,800万ユーロに上りました。極めて高水準だった2020年度第2四半期比では減収ですが(-43.0%)、2019年度第2四半期比では大幅増でした(+44.8%)。株式・プライムサービス業務の営業収益は当四半期に7億5,700万ユーロへ急増し、前年同期比2.6倍の増収を果たしました。顧客取引が記録的な高水準だったことに加え、前年同期は危機的環境の影響を受け続けていたため比較上でリバウンド効果が生じました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ EMEA: 欧州、中東、アフリカ

⁴ 出所: Dealogic社、2021年6月末時点、ブックランナーランキング(取引高、配賦額)

⁵ 平均残高(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く)

⁶ 出所: Dealogic社、2021年6月末時点、ブックランナーランキング(取引高)、EMEA: 欧州、中東、アフリカ

⁷ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-15.9%

⁸ 出所: Dealogic社、2021年6月末時点、ブックランナーランキング(取引高)

⁹ Fixed Income, Currencies, and Commodities (債券、通貨、コモディティ)



証券管理部門の営業収益は当四半期は5億7,100万ユーロ、前年同期比1.9%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.3%）。預かり資産平均残高の増加（前年同期比+20.3%）、良好な市場動向、新規顧客のオンボーディング、高水準の手数料が増収に寄与しました。このように証券管理部門は高水準の事業活動を維持し、2020年度に発表していたBanco Sabadellの受託事業買収を終え、最近ではユーロ圏や米国で大型マndートを獲得し、業容拡大を続けています。

CIB部門の営業費用は当四半期は事業活動の減少やコスト節減策の奏功に伴って20億4,200万ユーロに留まり、前年同期比8.0%減でした。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に16億7,200万ユーロとなり、前年同期比12.2%減でした。

CIB部門のリスク費用は当四半期は5,700万ユーロに留まり、更に減少しました。正常債権（ステージ1と2）の引当金取崩は全体的になく、前年同期比2億6,200万ユーロの削減です。コーポレートバンキング部門のリスク費用は6,400万ユーロで（顧客向け融資残高の17bp相当）、グローバル・マーケット部門では500万ユーロの戻入がありました。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に16億3,700万ユーロとなり、高水準だった2020年度第2四半期比で3.2%増、2019年度第2四半期比で54.8%の大幅増益でした。各部門の好調が貢献しました。

2021年度上半期において、CIB部門の営業収益は73億8,400万ユーロ、前年同期比4.4%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+8.6%）。営業収益は事業の多角化やそのプラットフォーム開発で押し上げられ、3部門全てで増収を果たし、グローバル・マーケット部門は7.9%増¹、コーポレートバンキング部門は11.3%増¹、証券管理部門は5.2%増¹でした。

コーポレートバンキング部門の営業収益は当上半期は24億8,100万ユーロ、前年同期比6.6%増でした。EMEA²地域や米州の健闘、EMEA地域のキャピタルマーケット・プラットフォームの貢献（高水準だった前年同期に比べても好調）、トランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントやトレードファイナンス）の回復が増収につながりました。

グローバル・マーケット部門の営業収益は当上半期は37億5,000万ユーロ、前年同期比3.9%増でした。FICC³業務の営業収益は22億9,600万ユーロで、特に債券発行、為替、コモディティデリバティブが好調でした。極めて高水準だった2020年度上半期比では32.6%減でしたが、2019年度上半期比では25.6%の大幅増収でした。株式・プライムサービス業務の営業収益は14億5,400万ユーロと記録的高水準でした。デリバティブが2020年度上半期比で回復したことが寄与しました。2020年度上半期は2020年度第1四半期の厳しい市場ショックの余波および欧州当局が発表した配当支払抑制勧告⁴の影響を受け、2020年度第2四半期に少しずつ回復していった時期でした。

証券管理部門の営業収益は当上半期は前年同期比1.3%増でした。預かり資産の残高増（特に最近獲得した大型マndートのオンボーディング）や取引高の増加が寄与しました。

CIB部門の営業費用は当上半期に48億900万ユーロとなり、前年同期比4.3%増でした。事業活動の力強い伸びに伴う費用増やIFRIC 21⁵に基づく「賦課金」の増加が押し上げ要因となりましたが、コスト節減策により、正のジョーズ効果を生み出しました（IFRIC 21に基づく「賦課金」を除くと+2.2ポイント）。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² EMEA：欧州、中東、アフリカ

³ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、通貨、コモディティ）

⁴ 欧州金融当局が2019年度の配当抑制を勧告した影響：2020年度第1四半期に-1億8,400万ユーロ

⁵ IFRICに基づく「賦課金」：6億2,800万ユーロ（2020年度上半期比+1億700万ユーロ）



これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当上半期に25億7,500万ユーロに上り、前年同期比4.5%の増益でした。

CIB部門のリスク費用は当上半期は2億2,900万ユーロと低水準で、前年同期比4億5,400万ユーロの削減でした。前年同期は健康危機の影響が濃く、特に正常債権（ステージ1と2）の引当を計上していました。

以上から、CIB部門の税引前利益は当上半期に23億8,800万ユーロに上り、前年同期比33.5%の増益を果しました。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期は1億6,200万ユーロ、前年同期は-7,800万ユーロでした。主な増収要因はプリンシパル・インベストメンツによる力強い寄与で、健康危機の影響を受けた前年同期から大きく回復しています。

営業費用は当四半期は2億2,200万ユーロでした。この中には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²が2,400万ユーロ、IT強化費用が4,700万ユーロ含まれています。なお、前年同期の営業費用には、一時項目として、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用が8,600万ユーロ、事業再編費用¹と事業適応費用²が3,000万ユーロ、IT強化費用が4,500万ユーロ反映されています。

リスク費用は、当四半期は6,400万ユーロでした（前年同期は3,300万ユーロ）。

その他の営業外項目は当四半期に2億9,800万ユーロの利益となりました（前年同期は1億200万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には、Allfunds株売却³による譲渡益が3億ユーロ含まれており、前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益8,300万ユーロが反映されています。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期は1億5,500万ユーロでした（前年同期は3億2,000万ユーロの損失）。

2021年度上半期において、コーポレート・センターの営業収益は4億7,700万ユーロで（前年同期は4,800万ユーロ）、特にプリンシパル・インベストメンツによる力強い寄与を反映し、健康危機の影響を受けた前年同期からの大幅回復を示しました。営業費用は5億5,300万ユーロでした。この中には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²が8,200万ユーロ、IT強化費用が6,600万ユーロ含まれています（前年同期の営業費用には、一時項目として、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用が8,600万ユーロ、事業再編費用¹と事業適応費用²が7,600万ユーロ、IT強化費用が7,900万ユーロ計上されていました）。リスク費用は1億1,900万ユーロでした（前年同期は4,600万ユーロ）。その他の営業外項目は5億8,900万ユーロの利益でした（前年同期は4億8,300万ユーロの利益）。当上半期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益3億200万ユーロとAllfunds株売却³による譲渡益3億ユーロが含まれており、前年同期の営業外項目には建物売却による譲渡益4億6,400万ユーロが反映されています。以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当上半期は3億9,400万ユーロとなりました（前年同期は7,800万ユーロ）。

*
* *

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

² 特にバンクウェストとCIB部門に関連

³ Allfunds持分6.7%の売却（残部持分は15.77%）



財務構造

当グループの財務構造は極めて盤石です。

普通株式等Tier 1比率は2021年6月末現在12.9%¹で、2021年3月末の水準から10bp上昇しました。この主因は以下の通りです。

- 配当性向50%を考慮後、当四半期純利益を剰余金に計上 (+20bp)
- モデル更新/規制改正に伴う影響 (-10bp)

他の要因が普通株式等Tier 1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率²は2021年6月末現在4.0%でした。

即時利用可能な剰余資金は2021年6月末現在で4,880億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
* *

¹ 資本要求指令4 (CRD4) ; 国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む

² ECBの2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度 (ユーロシステム) への預金関連の一時的免除を選択せず、規則 (EU) 2019/876に従って算定。



連結損益計算書

	2Q21	2Q20	2Q21 / 2Q20	1Q21	2Q21 / 1Q21	1H21	1H20	1H21 / 1H20
(単位：百万ユーロ)								
グループ								
営業収益	11,776	11,675	+0.9%	11,829	-0.4%	23,605	22,563	+4.6%
営業費用および減価償却費	-7,172	-7,338	-2.3%	-8,597	-16.6%	-15,769	-15,495	+1.8%
営業総利益	4,604	4,337	+6.2%	3,232	+42.5%	7,836	7,068	+10.9%
リスク費用	-813	-1,447	-43.8%	-896	-9.2%	-1,709	-2,873	-40.5%
営業利益	3,791	2,890	+31.2%	2,336	+62.3%	6,127	4,195	+46.0%
持分法適用会社投資損益	101	130	-22.2%	124	-18.4%	225	225	-0.0%
その他の営業外項目	302	106	n.s.	363	-16.9%	665	501	+32.7%
営業外項目	403	236	+70.7%	487	-17.3%	890	726	+22.6%
税引前利益	4,194	3,126	+34.2%	2,823	+48.6%	7,017	4,921	+42.6%
法人税	-1,193	-746	+59.9%	-969	+23.1%	-2,162	-1,157	+86.9%
少数株主帰属純利益	-90	-81	+11.1%	-86	+4.6%	-176	-183	-3.8%
株主帰属純利益	2,911	2,299	+26.6%	1,768	+64.7%	4,679	3,581	+30.6%
コスト/インカム率	60.9%	62.9%	-2.0 pt	72.7%	-11.8 pt	66.8%	68.7%	-1.9 pt

BNP パリバの 2021 年度第 2 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2021年度第2四半期—コア事業別業績

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		3,952	3,948	3,714	11,614	162	11,776
	対前年同期比	+9.7%	-2.0%	-9.9%	-1.2%	n.s.	+0.9%
	対前四半期比	+3.6%	-2.0%	+1.2%	+0.9%	-48.3%	-0.4%
営業費用および減価償却費		-2,431	-2,478	-2,042	-6,951	-222	-7,172
	対前年同期比	+2.3%	+2.6%	-8.0%	-0.8%	-32.5%	-2.3%
	対前四半期比	-16.5%	-4.2%	-26.2%	-15.9%	-33.0%	-16.6%
営業総利益		1,522	1,470	1,672	4,663	-59	4,604
	対前年同期比	+24.1%	-8.9%	-12.2%	-1.7%	-85.4%	+6.2%
	対前四半期比	+68.3%	+2.0%	+85.1%	+43.6%	n.s.	+42.5%
リスク費用		-276	-417	-57	-749	-64	-813
	対前年同期比	-16.3%	-45.5%	-82.2%	-47.0%	+93.8%	-43.8%
	対前四半期比	-11.5%	+16.6%	-67.0%	-10.9%	+16.5%	-9.2%
営業利益		1,246	1,053	1,615	3,914	-123	3,791
	対前年同期比	+38.9%	+24.3%	+1.9%	+17.6%	-71.9%	+31.2%
	対前四半期比	n.s.	-2.8%	n.s.	+62.6%	+71.8%	+62.3%
持分法適用会社投資損益		-2	113	10	121	-20	101
その他の営業外項目		3	-12	12	4	298	302
税引前利益		1,247	1,154	1,637	4,039	155	4,194
	対前年同期比	+38.8%	+20.2%	+3.2%	+17.2%	n.s.	+34.2%
	対前四半期比	n.s.	-7.0%	n.s.	+56.3%	-35.5%	+48.6%

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		3,952	3,948	3,714	11,614	162	11,776
	前年同期	3,602	4,027	4,123	11,753	-78	11,675
	前四半期	3,816	4,028	3,670	11,514	314	11,829
営業費用および減価償却費		-2,431	-2,478	-2,042	-6,951	-222	-7,172
	前年同期	-2,376	-2,414	-2,220	-7,009	-329	-7,338
	前四半期	-2,912	-2,587	-2,767	-8,266	-331	-8,597
営業総利益		1,522	1,470	1,672	4,663	-59	4,604
	前年同期	1,226	1,613	1,904	4,743	-406	4,337
	前四半期	904	1,441	903	3,248	-17	3,232
リスク費用		-276	-417	-57	-749	-64	-813
	前年同期	-329	-765	-319	-1,414	-33	-1,447
	前四半期	-311	-357	-172	-841	-55	-896
営業利益		1,246	1,053	1,615	3,914	-123	3,791
	前年同期	897	848	1,585	3,329	-439	2,890
	前四半期	593	1,084	731	2,408	-72	2,336
持分法適用会社投資損益		-2	113	10	121	-20	101
	前年同期	1	116	-3	113	17	130
	前四半期	-5	100	9	104	20	124
その他の営業外項目		3	-12	12	4	298	302
	前年同期	1	-3	6	4	102	106
	前四半期	3	57	11	72	292	363
税引前利益		1,247	1,154	1,637	4,039	155	4,194
	前年同期	899	960	1,587	3,446	-320	3,126
	前四半期	591	1,242	751	2,584	239	2,823
法人税							-1,193
少数株主帰属純利益							-90
株主帰属純利益							2,911

**2021年度上半期 – コア事業別業績**

	国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計	
(単位：百万ユーロ)							
営業収益	7,768	7,976	7,384	23,128	477	23,605	
	対前年同期比	+5.6%	-1.3%	+4.4%	+2.7%	n.s.	+4.6%
営業費用および減価償却費	-5,343	-5,065	-4,809	-15,216	-553	-15,769	
	対前年同期比	+1.6%	-2.2%	+4.3%	+1.1%	+25.0%	+1.8%
営業総利益	2,426	2,911	2,575	7,912	-76	7,836	
	対前年同期比	+15.6%	+0.4%	+4.5%	+6.0%	-80.7%	+10.9%
リスク費用	-587	-774	-229	-1,590	-119	-1,709	
	対前年同期比	-8.3%	-48.5%	-66.5%	-43.8%	n.s.	-40.5%
営業利益	1,838	2,137	2,346	6,322	-195	6,127	
	対前年同期比	+26.1%	+53.1%	+31.7%	+36.4%	-55.6%	+46.0%
持分法適用会社投資損益	-6	213	19	225	0	225	
その他の営業外項目	7	46	23	76	589	665	
税引前利益	1,839	2,396	2,388	6,623	394	7,017	
	対前年同期比	+26.0%	+50.2%	+33.5%	+36.7%	n.s.	+42.6%
法人税						-2,162	
少数株主帰属純利益						-176	
株主帰属純利益						4,679	

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
グループ						
営業収益	11,776	11,829	10,827	10,885	11,675	10,888
営業費用および減価償却費	-7,172	-8,597	-7,562	-7,137	-7,338	-8,157
営業総利益	4,604	3,232	3,265	3,748	4,337	2,731
リスク費用	-813	-896	-1,599	-1,245	-1,447	-1,426
営業利益	3,791	2,336	1,666	2,503	2,890	1,305
持分法適用会社投資損益	101	124	68	130	130	95
その他の営業外項目	302	363	496	38	106	395
税引前利益	4,194	2,823	2,230	2,671	3,126	1,795
法人税	-1,193	-969	-558	-692	-746	-411
少数株主帰属純利益	-90	-86	-80	-85	-81	-102
株主帰属純利益	2,911	1,768	1,592	1,894	2,299	1,282
コスト/インカム率	60.9%	72.7%	69.8%	65.6%	62.9%	74.9%



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業 PEL/CELの影響を除く						
営業収益	7,881	7,843	7,753	7,677	7,615	7,823
営業費用および減価償却費	-4,909	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,972	2,344	2,664	2,822	2,825	2,172
リスク費用	-693	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	2,280	1,675	1,527	1,883	1,730	1,122
持分法適用会社投資損益	111	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	-8	61	66	-5	-2	12
税引前利益	2,382	1,832	1,649	1,990	1,845	1,208
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	54.6	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業						
営業収益	7,900	7,844	7,753	7,678	7,630	7,810
営業費用および減価償却費	-4,909	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,992	2,345	2,664	2,823	2,840	2,159
リスク費用	-693	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	2,299	1,676	1,527	1,885	1,745	1,109
持分法適用会社投資損益	111	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	-8	61	66	-5	-2	12
税引前利益	2,402	1,833	1,649	1,991	1,859	1,195
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	54.6	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門（フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む） ¹ PEL/CELの影響を除く						
営業収益	4,076	3,956	3,976	3,867	3,721	3,913
営業費用および減価償却費	-2,502	-2,997	-2,610	-2,543	-2,446	-2,970
営業総利益	1,574	959	1,366	1,324	1,276	943
リスク費用	-284	-315	-458	-353	-331	-313
営業利益	1,291	644	908	971	944	630
持分法適用会社投資損益	-2	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	3	4	45	4	1	1
税引前利益	1,292	643	953	978	946	630
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-64	-53	-64	-56	-62	-56
国内市場部門税引前利益	1,228	590	890	922	884	574
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	25.7	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0
(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門（フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む）						
営業収益	3,952	3,816	3,838	3,735	3,602	3,757
営業費用および減価償却費	-2,431	-2,912	-2,534	-2,473	-2,376	-2,885
営業総利益	1,522	904	1,304	1,262	1,226	872
リスク費用	-276	-311	-459	-346	-329	-311
営業利益	1,246	593	845	916	897	561
持分法適用会社投資損益	-2	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	3	3	44	4	1	0
税引前利益	1,247	591	890	924	899	561
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	25.7	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹						
営業収益	1,607	1,481	1,516	1,498	1,423	1,511
うち受取利息純額	860	797	855	853	788	810
うち手数料	747	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,075	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	532	312	390	373	349	345
リスク費用	-101	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	431	186	221	236	259	244
営業外項目	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	429	187	261	235	259	244
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-32	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	397	157	225	205	226	209
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹ PEL/CELの影響を除く						
営業収益	1,587	1,480	1,516	1,496	1,408	1,524
うち受取利息純額	840	796	855	852	774	823
うち手数料	747	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,075	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	513	310	390	371	334	358
リスク費用	-101	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	412	185	221	235	244	257
営業外項目	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	410	186	261	233	245	257
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-32	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	377	156	225	203	212	222
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む）						
営業収益	1,534	1,410	1,446	1,430	1,354	1,437
営業費用および減価償却費	-1,041	-1,133	-1,091	-1,093	-1,040	-1,129
営業総利益	493	278	355	337	314	308
リスク費用	-94	-121	-170	-130	-88	-99
営業利益	399	156	185	207	226	209
営業外項目	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	397	157	225	205	226	209
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項：当該引当金は、フランス国内リテールバンキング事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度（Plans Epargne Logement: PEL）および住宅財形貯蓄口座（Comptes Epargne Logement: CEL）から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	2020	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
PEL-CELの影響	19	1	3	0	1	15	-13



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
BNLバンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	669	676	694	669	649	659
営業費用および減価償却費	-435	-459	-434	-426	-422	-465
営業総利益	235	217	260	244	227	194
リスク費用	-105	-110	-161	-122	-122	-120
営業利益	130	107	99	122	105	74
営業外項目	0	0	0	0	-2	0
税引前利益	130	107	99	122	104	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-10	-9	-9	-7	-9	-10
BNLバンカ・コメルシアール税引前利益	120	97	90	115	95	64
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.3	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
BNLバンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	647	654	672	649	629	637
営業費用および減価償却費	-422	-446	-421	-413	-410	-453
営業総利益	225	207	251	236	218	184
リスク費用	-104	-110	-161	-121	-122	-120
営業利益	120	97	90	115	96	64
営業外項目	0	0	0	0	-2	0
税引前利益	120	97	90	115	95	64
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.3	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ベルギー国内リテールバンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	864	858	861	851	835	885
営業費用および減価償却費	-488	-835	-556	-523	-499	-830
営業総利益	376	23	305	329	336	55
リスク費用	-45	-47	-67	-29	-80	-54
営業利益	331	-24	238	300	256	0
持分法適用会社投資損益	2	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	4	3	6	4	2	1
税引前利益	337	-24	247	311	262	5
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-20	-11	-17	-18	-19	-10
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	317	-35	230	293	243	-4
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ベルギー国内リテールバンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	821	815	820	811	794	842
営業費用および減価償却費	-466	-802	-532	-501	-477	-797
営業総利益	354	13	288	310	317	45
リスク費用	-44	-48	-68	-28	-79	-54
営業利益	311	-34	221	282	237	-9
持分法適用会社投資損益	2	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	4	3	6	4	2	1
税引前利益	317	-35	230	293	243	-4
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹						
営業収益	956	942	905	850	829	845
営業費用および減価償却費	-505	-533	-494	-469	-451	-508
営業総利益	451	408	411	380	378	337
リスク費用	-34	-33	-61	-66	-40	-38
営業利益	418	376	350	314	339	299
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	0	-1	0	0	0
税引前利益	415	374	346	312	336	295
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-1	-1	-1	-2
その他国内市場部門税引前利益	414	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む）						
営業収益	951	937	900	846	825	841
営業費用および減価償却費	-501	-531	-491	-466	-448	-505
営業総利益	450	406	409	379	377	335
リスク費用	-34	-33	-60	-66	-40	-38
営業利益	416	373	349	313	337	297
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	0	-1	0	0	0
税引前利益	414	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国際金融サービス部門						
営業収益	3,948	4,028	3,915	3,943	4,027	4,053
営業費用および減価償却費	-2,478	-2,587	-2,555	-2,382	-2,414	-2,766
営業総利益	1,470	1,441	1,360	1,561	1,613	1,287
リスク費用	-417	-357	-678	-592	-765	-739
営業利益	1,053	1,084	682	969	848	548
持分法適用会社投資損益	113	100	56	107	116	75
その他の営業外項目	-12	57	22	-9	-3	12
税引前利益	1,154	1,242	759	1,067	960	634
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	29.0	29.0	29.2	29.3	29.8	29.8

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,319	1,332	1,365	1,343	1,302	1,475
営業費用および減価償却費	-700	-763	-687	-641	-641	-787
営業総利益	619	568	678	703	661	688
リスク費用	-344	-321	-581	-383	-450	-582
営業利益	276	248	97	320	211	105
持分法適用会社投資損益	-2	16	-4	7	-5	8
その他の営業外項目	-9	1	-60	-11	4	0
税引前利益	264	264	33	315	210	113
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	7.8	7.8	7.9	8.0	8.1	8.1

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む）¹						
営業収益	464	516	527	561	609	665
営業費用および減価償却費	-394	-433	-402	-405	-414	-490
営業総利益	71	84	125	156	196	175
リスク費用	-58	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	12	45	30	43	53	89
持分法適用会社投資損益	77	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-7	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	82	43	80	93	80	147
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-3	-2	-2	-1	-3
欧州・地中海沿岸諸国部門税引前利益	80	41	78	91	79	144
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの2/3を含む）						
営業収益	461	512	523	557	606	660
営業費用および減価償却費	-392	-431	-401	-403	-411	-488
営業総利益	69	82	122	154	194	172
リスク費用	-58	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	10	43	28	41	51	86
持分法適用会社投資損益	77	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-7	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	80	41	78	91	79	144
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウエスト（米国プライベート・バンキングの100%を含む） ¹						
営業収益	587	625	594	627	629	611
営業費用および減価償却費	-406	-407	-423	-403	-432	-465
営業総利益	182	218	171	224	197	146
リスク費用	-8	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	173	224	168	134	30	83
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	3	2	0	2	-3	0
税引前利益	176	226	168	136	27	83
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-5	-7	-6	-6	-5	-5
NRBI	171	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウエスト（米国プライベート・バンキングの2/3を含む）						
営業収益	571	609	578	612	614	596
営業費用および減価償却費	-395	-398	-413	-394	-422	-455
営業総利益	176	211	165	218	192	141
リスク費用	-8	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	168	217	162	128	25	78
営業外項目	3	2	0	2	-3	0
税引前利益	171	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
保険部門						
営業収益	767	792	622	697	828	579
営業費用および減価償却費	-367	-383	-385	-347	-339	-393
営業総利益	399	409	237	350	489	186
リスク費用	-1	0	0	0	-2	1
営業利益	399	409	237	350	487	187
持分法適用会社投資損益	25	33	16	35	39	1
その他の営業外項目	0	0	0	0	21	9
税引前利益	424	442	253	384	548	197
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	9.1	9.0	8.6	8.6	8.5	8.6

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ウェルス&アセット・マネジメント部門						
営業収益	830	784	826	734	678	743
営業費用および減価償却費	-624	-612	-669	-598	-601	-642
営業総利益	206	172	157	136	77	101
リスク費用	-6	-4	1	-6	-4	-9
営業利益	201	167	159	130	74	92
持分法適用会社投資損益	13	12	11	14	28	11
その他の営業外項目	2	96	63	1	0	0
税引前利益	215	275	233	146	102	102
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ホールセールバンキング部門						
営業収益	3,714	3,670	3,315	3,372	4,123	2,953
営業費用および減価償却費	-2,042	-2,767	-2,190	-2,117	-2,220	-2,393
営業総利益	1,672	903	1,125	1,255	1,904	560
リスク費用	-57	-172	-432	-310	-319	-363
営業利益	1,615	731	692	945	1,585	197
持分法適用会社投資損益	10	9	8	3	-3	3
その他の営業外項目	12	11	9	7	6	2
税引前利益	1,637	751	710	955	1,587	202
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	25.3	25.0	24.5	24.7	24.3	22.3

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
コーポレートバンキング部門						
営業収益	1,238	1,243	1,281	1,118	1,258	1,070
営業費用および減価償却費	-589	-755	-645	-598	-632	-748
営業総利益	649	488	636	520	627	321
リスク費用	-64	-185	-430	-311	-366	-201
営業利益	585	303	206	209	261	121
営業外項目	9	6	6	2	-2	3
税引前利益	594	309	212	211	259	124
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	13.5	13.6	13.5	13.6	13.6	13.0

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
グローバル・マーケット部門						
営業収益	1,904	1,846	1,498	1,711	2,304	1,306
うち FICC	1,148	1,149	1,002	1,245	2,013	1,392
うち株式およびプライムサービス	757	697	497	466	290	-87
営業費用および減価償却費	-999	-1,527	-1,089	-1,065	-1,137	-1,162
営業総利益	905	319	410	646	1,167	143
リスク費用	5	14	-2	1	45	-161
営業利益	910	333	407	647	1,212	-17
持分法適用会社投資損益	5	2	2	0	-2	1
その他の営業外項目	2	3	0	0	3	0
税引前利益	917	339	409	648	1,214	-17
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.7	10.4	10.0	10.1	9.8	8.4

(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
証券管理部門						
営業収益	571	581	536	544	561	577
営業費用および減価償却費	-454	-485	-457	-454	-451	-482
営業総利益	117	96	79	89	109	95
リスク費用	2	-1	1	0	2	-2
営業利益	120	95	79	89	111	93
営業外項目	6	8	9	7	3	2
税引前利益	126	103	89	96	114	95
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9



(単位：百万ユーロ)	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
コーポレート・センター						
営業収益	162	314	-241	-165	-78	126
営業費用および減価償却費	-222	-331	-283	-165	-329	-114
うち事業改変、再編および適応費用	-71	-77	-150	-84	-75	-79
営業総利益	-59	-17	-524	-330	-406	12
リスク費用	-64	-55	-29	3	-33	-13
営業利益	-123	-72	-554	-327	-439	-1
持分法適用会社投資損益	-20	20	4	16	17	18
その他の営業外項目	298	292	421	36	102	381
税引前利益	155	239	-129	-275	-320	398



**代替的業績指標（Alternative Performance Measures: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の
一般規則第223-1条に基づく開示**

代替的業績 指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書 (P/L) (各事業部門の営業収 益、営業費用、営業総利 益、営業利益、税引前利 益の合計)	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバン キング事業の損益計算書の合計 (なお、国内市場部門の損益には、フランス、イタリア、 ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキン グの2/3を含む) BNPパリバ・グループ損益計算書 =事業部門 + コーポレート・センターの損益計算書の合計 グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」 の表で開示	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く 損益計算書の合計 (各事業部門の営業収 益、営業総利益、営業利 益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は 「四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対す る引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベート・バンキン グの100%を含むリテ ールバンキング事業の損益 計算書の合計	プライベート・バンキング全体の損益を含む リテールバンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は 「四半期業績の推移」の表で開示	リテールバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベ ート・バンキングの業績の全部を含む (プライベート・バンキングは、リテールバンキング(2/3)と ウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれる が、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配 分する前の数値)
営業費用の変化 (IFRIC 21を除外後)	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営 業費用の変化を算定	IFRIC 21に基づく税金・拠出金は上半期に通年分のほぼ全額 が計上される。上半期の営業費用からIFRIC 21を除外し、他 の期間との比較の際の混乱を避け、営業費用の変化をとらえ る指標。
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用÷期首顧客向け 融資残高 (単位: bp)	リスク費用 (単位: 百万ユーロ) を期首の顧客向け融資残 高で除したもの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された 「融資残高に関わるリスク費用」で開示	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産 (ステージ3) の引当金と当該資産 (ステージ3) の減損後残高との関係を表す指標。 対象となる資産は、バランスシート上およびオフバラ ンスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺す る。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価 で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定 する有価証券を含む (保険事業を除く)	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く 株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された 「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を 除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外 される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化およ び事業変革費用がある。
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添 付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添 付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- 国内市場部門：フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB）を含む）
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国部門、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険部門、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる。
- ホールセールバンキング部門（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバル・マーケット部門、証券管理部門を含む



堅実なビジネスモデルで力強い業績を実現.....	2
リテールバンキング&サービス事業	6
国内市場部門.....	6
国際金融サービス部門.....	11
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	16
コーポレート・センター.....	18
財務構造.....	19
連結損益計算書.....	20
2021年度第2四半期－コア事業別業績.....	21
2021年度上半期－コア事業別業績.....	22
連結四半期業績の推移.....	23
代替的業績指標（Alternative Performance Measures: APM）－フランス金融市場庁（AMF）の 一般規則第223-1条に基づく開示.....	32

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述は、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process：SREP）」は欧州中央銀行（ECB）により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Philippe Regli +33 (0)1 43 16 94 89

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas/en>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**